

ゆう和

Air-Conditioning
& Plumbing Contractors
Association of Hyogo

No.017

2011 WINTER

特集 防災機能強化に向けて

- 特集1 防災&エコ探検隊 福良港津波防災ステーション(南あわじ市)
津波対策の拠点施設が福良に完成
- 特集2 ひょうご New Face 協同組合 兵庫木材センター(宍粟市)
健全な森林の育成を目指す
- 特集3 兵庫県の防災・危機管理の現状と課題
兵庫県防災監 木村光利
- 特集4 被害を軽減する防災グッズ
常日頃から防災意識を高める

■ 兵庫のヒーリングスポット・・・兵庫県立淡路夢舞台温室 奇跡の星の植物館
■ 新年のご挨拶 ・ 神田会長 ・ 井戸 敏三 兵庫県知事 ・ 協会顧問

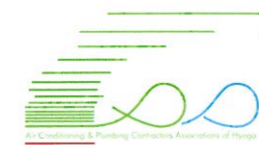
■ 平成23年 新年交礼会
県庁だより 新会員紹介



兵庫県
空調衛生
工業協会

発行/社団法人 兵庫県空調衛生工業協会

ゆう和 2011 WINTER No.017



社団法人 兵庫県空調衛生工業協会
tel.078-341-0991 fax.078-341-0874
<http://www.hyogo-kuei.or.jp>

私たちは、兵庫県と防災協定を結んでいます。
ライフラインを守り、災害時の復旧に尽くします。

ご挨拶



(社) 兵庫県空調衛生工業協会
会長 神田 武

後世へ向けての協会活動を目指して

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかな新年を迎えられたこと心からお慶び申し上げます。

今年は十二支の「卯」、ぴよん・ぴよんリズムよく跳べる一年でありたいと願っています。

昨今の厳しい経済状況の中、建設業を取り巻くとりわけ専門工事業におきましては大変厳しいものがあります。

特に従業者の高齢化や後継者問題を含め、真に試練の年であると同時に、さまざまなことが見えてくるような一年でもあるような気がしています。

公共工事の入札制度におきましても、公平性・透明性・競争性という観点から受注者の顔が見えない一般競争入札で施工されています。そのために本来の営業力・技術力を中心とした経営から、今では仕事を獲得するために最低予算価格を模索することに力を注がなければならぬ残念な経営となっております。閉塞感から飛び出せる年を期待したいものです。

昨年一年間を振り返ってみますと各委員会が積極的に取り組んでいただき、様々な活動を行うことができましたし、年度内にも企画していただいています。それは、会員の「エコアクション21」取得への講習会の開催、コンプライアンス遵守等の勉強会、多様な内容の技術研修会、社会貢献への取り組みなど広く活動してまいりました。

今年は地球温暖化防止への世論の声はますます大きくなり、それに合わせて設備投資へのビジネスチャンスに協会一体となって取り組み、業界発展と社会から認識される空調衛生業界となるよう、社会的使命を見つめなおす活動を展開してまいる所存です。

ここで会員の皆様にお願ひがあります。後世に向けての協会の安定的な運営のためにも会員が一丸となつて、会員一人が一新入会員入会へ「man to man」で会員増強に取り組んでいくことをお願いしたいと思います。

このような厳しい状況下、業界発展のために課せられた責任を果たすべく会員各位のご協力を得ながら、現況の関係各位のご支援を賜り、協会活動を推進し、厳しい情勢を乗り越えていきたいと思ひます。

今年一年が皆様にとりまして明るい、すばらしい一年となりますことを祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



表紙
福良港津波防災ステーション(南あわじ市)

CONTENTS

YUWA 2011 WINTER No.017

会長挨拶

(社) 兵庫県空調衛生工業協会 会長 神田 武 1

新年のご挨拶

3

特集 防災機能強化に向けて

特集 1

防災&エコ探検隊

5

福良港津波防災ステーション(南あわじ市)

津波対策の拠点施設が福良に完成

特集 2

ひょうご New Face

7

協同組合 兵庫木材センター(宍粟市)

健全な森林の育成を目指す

特集 3

兵庫県の防災・

危機管理の現状と課題 9

兵庫県防災監 木村光利

特集 4

被害を軽減する防災グッズ

常日頃から防災意識を高める 11

兵庫のヒーリングスポット

12

兵庫県立淡路夢舞台温室

「奇跡の星の植物館」

新年交礼会

13

県庁だより

15

お知らせ

17

・新会員だより・暴力団対策研修会

親睦チャリティーゴルフ大会の

募金を寄贈 18

二〇一二年 新年のご挨拶



兵庫県知事
井戸敏三



兵庫県まちづくり担当部長
川端 宏幸

「自立新時代に向かつて」

新年あけましておめでとうございます。二十世紀の幕開けから十年、新しい社会のしくみが模索されています。デフレ経済下で経済雇用の停滞が長く続き、先行きに対する閉塞感が漂っています。まずはデフレ円高対策を適切に実行し、あわせて社会的枠組みを再構築して将来不安を払拭するとともに、多様な地域が個性を発揮して元気な地域づくりを進めなければなりません。そのためには、短期、中長期を見極め、直面する課題を明らかにし、将来ビジョンを描きシナリオを準備して力強く実行する必要があります。

第一は、経済雇用対策。景気低迷と急速な円高を克服し、頑張る企業を応援します。また、整備が進む京速コンピュータ、X線自由電子レーザーなどの科学技術基盤と企業立地の優位性を生かし、兵庫産業の競争力を高めます。

第二は、安全安心で質の高い生活環境。風水害や地震に強い県土づくり、地域医療や健康福祉の基盤づくり、充実した子育て環境づくり、街の賑わいづくりなど、生活の豊かさを確保します。また、山陰ジオパークをはじめ、広い県土の豊かな自然と人とのふれあいを生かし、環境優先兵庫の魅力を高めます。

第三は、自立新時代への前進。関西広域連合発足を契機とした関西の自立、行政構造改革と長期ビジョンの推移による兵庫の自立、人と社会の協働による地域の自立をめざします。

自ら考え行動する人々が拓く新時代に向かつて、変化に負けない元気な兵庫を創っていきましょう。

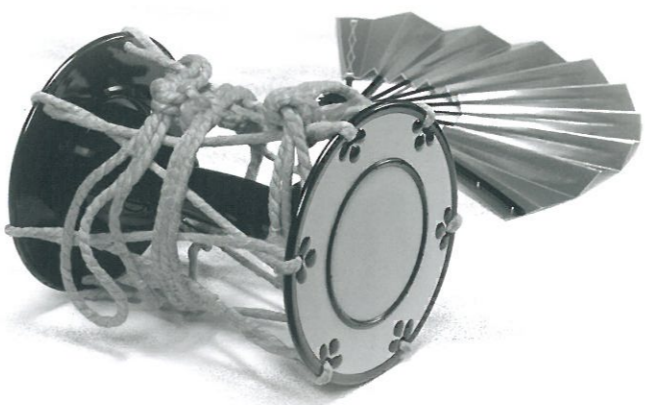
新しい 自立の時代 創らんと
人と地域が 絆き合いに

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、まちづくり行政の推進に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。本年は、7月から施行される「福祉のまちづくり条例」に基づき、全ての県民がいきいきと生活できる福祉のまちづくりに取り組むとともに、民間住宅の耐震改修を促進するため、わが家の耐震改修促進事業等に取り組むなど安全・安心のまちづくりを推進して参ります。

また、県有施設の整備においても、地球温暖化防止など環境問題に対応するため、太陽光発電の設置や屋上緑化、省エネルギー性やライフサイクルコストを考慮した機器の採用など環境負荷の低減化をより一層推進して参ります。

今後とも、「元気で安全安心な兵庫」をめざしてまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



参議院議員
末松 信介

新年おめでとうございます。

皆様のご支援のおかげで、昨年二度目の当選を果たすことができました。心から感謝御礼申し上げます。昨年の臨時国会から、参議院の経済産業委員会と行政監視委員会に所属すると共に、行政監視委員長を拝命致しました。研鑽を積みしつかりと与えられた重責に堪えて参る所存です。

民主党政権発足後すでに四百数十日が経過しましたが、未だ円高デフレ不況脱却に向けての有効な景気対策は実施されておられません。外交、防衛もご存知の状況であります。「日本を何とかしなければ国民の利益、日本の国益を最優先に、日夜山積する政策課題に真剣に取り組んでおります。

「コンクリートから人へ」で、本来必要な公共事業が縮小され、民間の設備投資意欲も減退したままという、まさに経営の根幹を揺るがしかねない厳しい社会情勢の中、日々社業維持のために懸命のご努力を重ねておられると拝察致します。

ただ、方々で今後莫大な建築ストックが順次大規模なメンテナンスを要する時期を迎えることは必定であります。空調衛生業界こそが日本のCO₂排出量削減努力に直接寄与できるという事実を、速やかに世間に広めなければなりません。省エネ、低炭素化改修の実施は、かねてより貴協会挙げてお取り組み中の直接（分難）発注の推進と共に業界発展に資するものと大いに期待を致しております。

結びに、この年の皆様のご平安と益々のご多幸、ご繁栄を祈念致しまして、年頭の挨拶にかえさせていただきます。



兵庫県議会議員
立石 幸雄

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはご家族お揃いでお健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は格別のご厚情とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、民主党に政権が変わって二年余、多くの皆さんがこれ世の中「チェンジ」し、暮らしても経済も良くなるものと大きな期待をした事と思います。しかしながら経済は相変わらず低迷、さらに円高株安が続く輸出関連企業を中心にどう乗りきれればよいのか四苦八苦の状況です。一方で財政は困窮し社会保障や環境、教育、国債の支払いなどは増加するばかり、中国など外交問題も進まず、国民生活第二のスローガンはもはや無きに等しい状況であります。このような時こそ地方の頑張るときです。地方の時代と言われて久しい物がありますが、国の政策にとらわれず、地方の実情や環境に合った独自の政策を実施することにより住民の暮らしの向上につながるのではないのでしょうか。そのため地方議会議員である私たちはしっかりと住民意識と自由な発想により地方行政に取り組みなければなりません。本年4月には統一方選挙が実施されます。私は地方議員の一人として地域の発展と住民福祉の向上のため、決意も新たに更なる努力を傾注して参ります。

今年も千支という「卯」年です。皆様にとりましても兎が飛び跳ねるように飛躍し、隆盛の年となりますことを心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



兵庫県議会議員
羽田野 求

新年あけましておめでとうございます。平素は私ども兵庫県議会に格段のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。「人口減×高齢化×財政難。日本は世界でどの国も経験したことがない難題時代に直面している」「先例なき時代に立つ日本は国を開き、道を拓く挑戦を！」

「政治家と経営者は、日本経済のこの大転換期に極めて重大な責任を負っていることを自覚すべき」……

これらは元日号新聞各社説の論調です。「TPP参加と農業改革」「高齢社会の社会保障改革と消費税問題」、この二つのテーマに責任ある道筋を示し、その利害調整と実現力は政治家に強く求められています。これこそが、官僚主導から政治主導ではないのでしょうか。当然、「経済開国と国内改革」には、国民の痛みと政治家への不評が伴いますが、国民に理解を求め、勇気を持って実行しなければならぬと県議会議員を5期20年務めた経験から今更ながら痛感しています。その意味から言えば、兵庫県新行財政改革の見直し案も随より始めて人件費の削減、そしてメリハリのある事務事業の見直しなど、層の深堀がまず必要です。そして借金の先送りを止めるとともに、弱い立場の県民を守り、明日の元気を創る攻めの投資をおこなうための改革を徹底しなければならぬと考えます。

本年3月末をメドに、新兵庫県地球温暖化防止計画の策定に環境審議会の一員として取り組んでいます。グリーン革命が日本の成長戦略の柱の一つであり、地方レベルからその環境国家戦略を政府に実行させる大胆な視点を持った計画にして参りたいと思えます。その意味で「経済発展技術開発」「地域重視自然志向」から、皆様のご意見も伺いながら、実効性のある計画策定に取り組んで参ります。

私も兎年にふさわしい新たな飛躍、「元氣ひょうご」を創るために今年も全力で働いてまいります。貴協会ますますのご発展とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶をさせていただきます。

防災機能強化に向けて

兵庫県は、昨年、災害に強い都市の構築を目的に国連が実施する世界防災キャンペーンにおいて「模範都市」に認定され、井戸知事が世界の防災・減災リーダーとして「チャンピオン」に就任しました。

また、兵庫県など2府5県でつくる広域行政組織「関西広域連合」においても、兵庫県が「防災分野」を担当することに決まりました。未曽有の大震災を体験、その経験の集積と防災対策、教訓の発信に努めてきた兵庫県に、いま、防災先端都市としての役割が期待されています。

特集1 防災&エコ探検隊 福良港津波防災ステーション(南あわじ市)

津波から避難する時間と場所を確保

津波対策の拠点施設が福良に完成

四国南方沖から紀伊半島沖の海底を震源とする南海地震は、100年から150年の周期で繰り返し発生する巨大地震。大規模な津波も引き起こすとされているこの地震は、今後30年以内に約60%、50年以内では80~90%の確立で発生するといわれています。前回の南海地震は昭和21年12月21日に発生。比較的地震の規模が小さかったことから、次回には、マグニチュード8・4クラスの大地震が発生すると想定され、住宅の過密化と老朽化、住民の高齢化とも相まって、大きな被害が懸念されています。

兵庫県では、県内最大の被害が予想される南あわじ市福良地区に、水門や樋門などの扉を確実に閉鎖し、津波による被害を低減するため「福良港津波防災



広報委員会では、12月14日(火)同ステーションを見学。兵庫県淡路県民局の古川仁課長にご案内いただきました。



● 錆をもつて錆を制する
鳴門観潮船発着場の西隣に建つ鉄骨2階建ての赤錆びた建物が、福良港津波防災ステーション。渦潮のエネルギーの流れをイメージした円形の建物は、見る方向によって姿が変化し、福良港の新たなランドマークとなっています。

● 防災ステーションの4つの役割
防災ステーションには、
①備える、②伝える、③逃げる、④学ぶ
と、4つの主な役割があります。

● 備える
福良港には、高潮による浸水被害を防止するために防潮堤が整備されており、2つの水門、7基の樋門、17基の陸閘が整備されています。防災ステーションには制



御室を備え、全国瞬時警報システムに連動して、それらを自動的に閉鎖し、津波が町の中に入り込むのを防ぎます。

● 伝える
津波が発生した場合、少しでも速く高いところに避難する必要があります。防災ステーションでは、津波警報が発表された場合等、放送によって、速やかに周辺の人々に津波の発生を知らせます。また、大規模な津波が来襲した場合には、福良港の映像を県の土木事務所や南あわじ市役所に送り、いち早い救援・復旧活動に結びつけます。

● 逃げる
福良地区では、南海地震による津波高が最大5・3mになると予想されています。現在整備されている防波堤の高さは

2・95mで、津波被害を完全に防ぐことはできません。想定以上の大津波が来襲する恐れもあります。

しかし、地震の発生から福良への津波の到達までは約50分の時間があります。高きところから、大きな地震を感じたら、まず高いところに避難することが大切です。防災ステーションの2階の高さは約6・6mで屋上もあり、津波発生時には緊急避難所として機能します。

● 学ぶ
防災ステーションには学習室を備え、津波について何、どうして起きるのか、津波の怖さ、津波からどうやって逃げればいいのかなどを映像プログラムなどから学ぶことができます。「津波から逃げてシミュレーションゲーム」は、津波の警報発生から何分で安全な場所まで避難できるかを体験するゲーム。被災で遭遇するさまざまな選択への決断を行いながら避難しますが、間違った選択をした場合には、正しい避難方法がアドバイスされ、楽しく学ぶことができます。また、深さ50cmの水の流れを体感できる装置も備えられています。



福良港津波防災ステーション 〒656-0501 南あわじ市福良甲1528-4

■ 開館時間 10:00~16:00 ■ 電話番号 0799(50)2381
■ 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日) ■ 入館料 無料
■ アクセス 神戸淡路鳴門自動車道西淡三原I.C.から県道31号線で福良方面へ三宮から淡路交通・神姫バス高速バスで福良バスターミナル下車徒歩2分

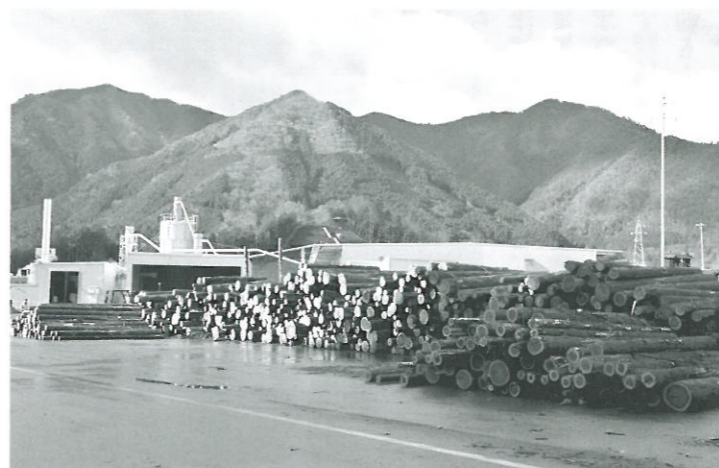
DATA

県内の森林資源を積極活用

健全な森林の育成を目指す

県土の約70%を森林が占める兵庫県。とくに、宍粟市などの山間部は、古くから林業・木材・木工製品・家具等の生産を地場産業として栄えてきました。しかし、戦後の木材輸入自由化によって、外国から木材がどんどん入ってくるようになりました。安価な外国資材の値段を基本に競争せねばならず、それでは生計が立たないため、森林所有者も木を切らず山を放置するようになってしまいました。放っておけば山は荒れ、表土がどんどん流され、そのうち木が倒れてしまうのだそうです。山の保水力も低下し、災害を引き起こす恐れもあります。

そこで、品質・価格・供給力で外材に対向できる兵庫県産材供給システムを構築するとともに、森林所有者に利益を還元し、持続可能な資源循環型林業を拓き、健全な森林の育成を図ろうと、平成22年11月、宍粟市「宮町」に「兵庫木材センター」が開設されました。しそ森林組合や県内を中心とする企業20社による協同組合で、原木の調達・集積から加工、住宅等への県産木材製品の販売まで一貫して手がける大型製材拠点です。



● 間伐材切り出しコストを低減 森林所有者に利益還元

「戦後に植林したスギやヒノキが伐採時期を迎えています。山は間伐もされず真つ暗な状態です。金にならないから売ろうともしないわけなんです。県内材の年間成長量は160万m³。そのうち利用

されているのは16万m³と、わずか10分の1です。何とか、利用しながら山を自立できるようにしなければ」と語るのは、兵庫木材センターの専務理事・山田佳幸さん。組合員21社のうち11社が原木生産を行う素材生産業者で構成されている兵庫木材センター。団地化、高密度路網、高性能林業機械の導入を図り、低コストでの原木生産に取り組んでいます。「補助金制度を活用して山で木を切るための費用に当て、機械を入れて効率よく間伐し、コストを低減。森林所有者への利益還元を行います。木を出さなければ、製材業者も成り行きませんからね」。

センターで扱うのは間伐材のみ。とはいつても、直径30cmほどもあるうかという立派な木材がドーンと積み上げられています。その光景は圧巻です。

● 高品質な製品を 最新の機械で高速生産

兵庫木材センターでは、4台の製材機とワンウェイ式送材の組み合わせにより、8秒に1本の丸太を製材するという超高速製材で、製材コストの削減を図っています。

センターに運ばれた原木は、まず原木選別機で長さ・径級・曲がり・品質ごとに自動選別され、製材用、合板用、外部販売用に仕分けされます。合板用と外部販売用はそれぞれ組合員の合板工場・製材工場に出荷されます。

また、最新の乾燥機により確実な乾燥を行っているのですが、乾燥機の熱源には、木屑焚きボイラーを採用。製材端材や樹皮を細かいチップに加工、従来燃料として向きだつた木屑を有効活用し、原材料の廃棄物のゼロ化を図るとともに、化石燃料を極力使用しないことでCO₂削減に尽力しているのも特色です。「このシステムが全国に広がって欲しいですね。」



● 地元産業の活性化、雇用促進にもつながります。

● 現在、兵庫県の施設は、県産材を使つた木造という方向にあります。● また、国産材を使おうという建設業者も増えてきています。

まだまだ問題はありますが、国産材・地域材に風が吹いてきていると思います。センターの取り組みは、放置森林に悩む全国の森林組合等に、進むべき方向を示すコンパスともなりそうです。



兵庫県の防災・危機管理の現状と課題

兵庫県防災監 木村光利



関係機関や住民との連携による防災訓練を実施

21世紀の幕開けから10年が経過しました。世界では、この間、多くの大規模災害が発生しています。また、地震、洪水に加え、地球温暖化に伴う気候変動、新型インフルエンザ、鳥インフルエンザ、口蹄疫、地域紛争等の新たな脅威が懸念されるなど、防災・危機管理を取り巻く環境は厳しさを増しています。こうしたなか、兵庫県では、阪神・淡路大震災の経験や復興過程で得た教訓をもとに、防災・減災対策や危機管理体制の整備、住民、地域による自助、共助の取り組みへの支援、国際的な防災協力等、さまざまな施策を推進しております。今後とも、企業、学校、地域団体、NPO、ボランティアなど、県民の方々と力を合わせ、阪神・淡路大震災の経験や教訓を生かしながら、兵庫の安全・安心の確保に努めると共に、こうした経験や教訓を国の内外や次の世代に伝える活動を推進していきます。

1 我々を取り巻く災害の現状

昨年のハイチ地震や、2004年のスマトラ島沖地震津波災害をはじめ、この10年間に被害者が1万人を超える災害が実に7回も起こっています。20世紀の100年間のそれは31回ですから、実に20世紀の平均の2倍以上の頻度です。また、オーストラリアやブラジルの洪水をみても、このところ、災害の規模が大きくなっていることも特徴的です。国内では、阪神淡路大震災以降、こうした大規模災害こそ発生していませんが、災害列島といわれる日本では台風や大雨等による被害は毎年途切れることはありません。兵庫県においても、最近でも都賀川の増水事故や播磨西北部等に甚大な被害をもたらした台風9号災害など、「天災は忘れた頃にやってくる」との名言がありますが、災害は忘れなくともやってきました。

2 阪神淡路大震災と教訓を踏まえた災害対応体制の整備

1995年に発生した阪神淡路大震災は、稠密な市街地が連たんし、高度に都市機能が集積した地域の直下で発生した史上初の災害といわれています。

3 新たな危機の対応

兵庫県においては、今後30年以内の発生確率が60%〜70%程度といわれ、来るか来ないかではなく、いつ来るかが問題とされる海溝型の東南海・南海地震や、都市直下型の山崎断層帯地震・上町断層

帯地震に加え、短時間強雨の増加等、新たなタイプの災害も危惧されています。また、新型インフルエンザ、鳥インフルエンザ、口蹄疫など感染症の蔓延、北東アジア地域における国際情勢の不安定化等新たな脅威も懸念されるなど、防災・危機管理を取り巻く環境は厳しさを増しています。こうした事態に対応すべく、組織体制を整えるとともに、各種の訓練を通じ、その実効性の向上や防災関係機関との連携の強化を図っています。

また、県民個人や地域のコミュニティが、新しい危機に対応できるよう、防災・減災意識の醸成、防災・減災の知識（知恵、情報）の習得、緊急時の具体的な行動力の獲得のため学習や各種訓練への参加機会の提供に努めています。

4 「伝える」「備える」「活動の推進」

兵庫県では、国内外の大規模災害に対し、応援職員の派遣、見舞金・援助物資の贈呈、県民から募った義捐金による学校や保健所の再建プロジェクト等により、被災地の早期復旧・復興支援を行っています。また、HAT神戸（神戸東部新都心）に集積する多数の国際的な防災関係機関と連携し、国連防災世界会議等多くの国際会議の開催や研修を行い、阪神・淡路大震災の経験や教訓を世界の共通財産として発信しています。

こうした活動が評価され、昨年、国際連合の推進する世界防災キャンペーン

「災害に強い都市の構築」において、世界で最初の模範都市3団体のひとつとして「兵庫県」が、また、世界の防災減災リーダー6人のひとりとして「兵庫県知事」がそれぞれ認定を受けました。こうした評価にこたえていくためにも、また、阪神淡路大震災の尊い犠牲を無にせず、つらく悲しい思いをする人々を少しでも少なくするためにも、国際防災協力に更なる努力していきます。

一方、震災から16年が経過し、神戸市においては、誕生や移転により、約4割の人々が被災を経験していない住民になるなど、震災の風化が懸念されています。また、本格的な少子高齢化の進展、コミュニティの希薄化、人口の都市集中と過疎化の進展等、地域の防災力を弱めるような社会的環境も生じています。

しかし、兵庫県には、あの震災から、県民個人はもとより、企業、学校、地域団体、NPO、ボランティアなど、県民が力を合わせて復旧、復興に取り組み、幾多の課題を乗り越えてきた実績と経験があります。それが、現在、県政の基調をなす「参画と協働」にも結実しています。防災の分野においても、県民主導で、住宅の耐震化、家具の転倒防止、県住宅再建共済制度（フェニックス共済）への加入等、防災・減災の取り組みを行う防災力強化に向けた県民運動を展開しています。こうした活動のリーダーとなる人材を、「ひょうご防災リーダー講座」を通じ



国際会議で兵庫の知見を発信 (INSARAG兵庫会議)

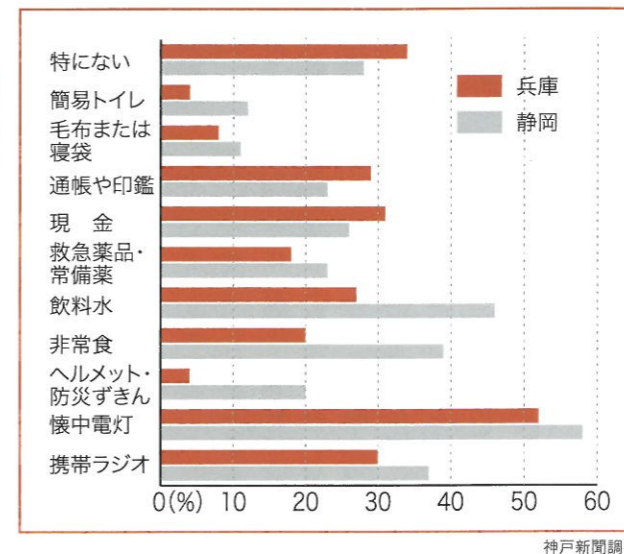
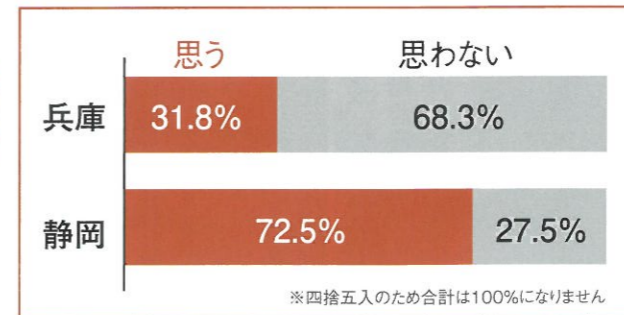
兵庫県防災力強化県民運動
ひょうご防災アクション
2010～2014の重点項目

<http://www.19950117hyogo.jp/kyouka/index.htm>

被害を軽減する防災グッズ

常日頃から防災意識を高める

先頃、神戸新聞社が実施した「兵庫・静岡防災調査」で、阪神・淡路大震災で被害を受けた兵庫と、近い将来に起こると予想される東海地震に備える静岡では防災意識の違いがあることが判りました。



10年以内に巨大地震が来ると思いますか

非常持ち出し品の準備(抜粋)

「巨大地震が起こらない」と答えた兵庫県民は、「断層が既に動いたから」「根拠はないが何となく」などを理由にあげているようです。また、日頃から準備している非常用持ち出し品についても、「現金」「通帳や印鑑」以外は静岡が上回り、阪神・淡路大震災時の教訓が現在の備えに結びついていない実態が伺えました。震災から16年を経た今こそ、あらためて災害に対する自分や身近な人の防災意識を再確認する必要があるのではないのでしょうか。

非常用持ち出し袋

- 非常用持ち出し袋(シルバーリュック式、防災協会認定品)
- 折りたたみ給水容器(10Lホルドキャリア、取っ手・栓付)
- 缶入りカンパン(5年保存)100g×2缶
- マジックライス・五目ご飯(5年保存)100g×2個
- 発熱剤2セット
- 飲料水(5年保存)500ml×2本
- 簡易トイレ(スケートトイレS-7N)
- 防水ライト(単1電池×2本付)
- 携帯ラジオ(単3電池×2本付)
- 粗食器(アルミ3点セット)
- 救急セット(コットン20g、救急絆×10枚、伸縮ホータイ×1個、ガーゼ×1枚、油紙×2枚、三角巾、ハサミ)
- 多機能ナイフ(缶切、栓抜き)
- レジャーシート(Wサイズ)
- 軍手

避難所生活用品



●間仕切り
避難共同生活のなかで個人のプライバシーを守り視線の遮断や騒音の緩衝などの役割を果たします。

●圧縮下着

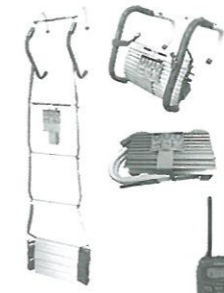


●スリーピングバッグ(寝袋)

避難・救助救急用品



●防災ずきん



●避難はしご



●救急セット



●トランシーバー



「人と防災未来センター」のホームページからは、非常持ち出し品のチェックリストがダウンロードできます。→

●人と防災未来センター ホームページ <http://www.dri.ne.jp/> ●防災グッズ通販 地震防災ネット <http://jisinbousai.net/>

花と緑の実験型植物館で自然との共生を学ぶ

兵庫のヒーリングスポット 兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」

広報委員会では、12月14日(火)、淡路市夢舞台の「奇跡の星の植物館」を見学しました。

関西国際空港をはじめとする大阪湾岸埋め立てに使われた土取り跡地に、人の手による緑の復元という夢を実現させた「淡路夢舞台」。そのシンボリック施設「植物館」では、自然の素晴らしさや美しさを訴えるとともに、自然と共生した先人の暮らしのあり方に学び、自然と共生する21世紀のライフスタイルを提案しています。

海と森に包まれ、たくさんの生物がともに暮らす地球は、宇宙のチリから偶然に生まれた、まさしく「奇跡の星」。その名を冠したこの植物館は、自然を見つめ、植物の美しさや不思議を知り、地球に生きることの素晴らしさ、この奇跡を守る大切さへの気づきをテーマにしたミュージアムです。

6700㎡と日本最大級の規模をもつ植物館は、高さ約17m、長さ約100mの2つの直方体がクロスした形で、自然の美しさ・巧みさを五感で体感する「五感軸」、花と緑のある暮らしや都市緑化を

提案する「共生軸」の2つのゾーンから成り立っています。

五感軸には、乾いた土地で生きる多肉植物とオブジェで構成されたプランツガーデン、トロピカルフラワーや耐暑性のあるプランツなど、大阪ベイエリアの暑い夏を元気に彩る植物素材を提案した「トロピカルガーデン」、色や香り、水の流れなどで五感に訴える癒しの庭、花と人の文化をテーマにさまざまなフラワーイベントを繰り返す「フラワーショースペース」が続いていきます。共生軸には、日本の共生の文化が生み出した伝統的なライフスタイルや園芸文化を紹介するとともに、瓦や土塀を使った緑化壁など和モダンな庭のヒントが詰まった「花と暮らしのある暮らし」、水音の響く洞窟空間にシダやイワタバコ科など人工の光の下でも育つ植物を集め、新しい室内緑化を研究提案している「シダルーム」、コンクリートに囲まれた都会空間でも創意工夫で自然に親しむことができるようになることを表現した「アトリウム」、中国雲南省から届いた珍しい植物を展示した「特別展示室」が配されています。

奇跡の星の植物館では、3月6日まで、



兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」 〒656-2306 兵庫県淡路市夢舞台4番地
DATA
 ■開館時間 10:00~18:00(入館17:30まで) ■電話番号 0799(74)1200
 ■休館日 年2回(不定休) ■入館料 大人600円、高校生・65歳以上300円
 ■アクセス 神戸淡路鳴門自動車道淡路I.C.から国道28号を南へ約5分
 三宮から本四海峡バス・西日本JRの高速バスで約70分淡路夢舞台下車 <http://www.kisekinohoshi.jp/>

平成23年

新年交礼会

●日時：平成23年1月13日(木) ●場所：ホテルオークラ神戸1階平安の間 ●参加者：235名

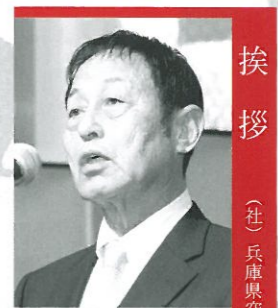


【主な御来賓(順不同・敬称略)】

井戸敏三 兵庫県知事 / 吉本知之 兵庫県副知事 / 末松信介 参議院議員 / 羽田野求 兵庫県議会議員
川越宏幸 兵庫県まちづくり担当部長 / 松本啓朗 兵庫県県土整備部住宅建築局長
三俣磯男 兵庫県県土整備部住宅建築局設備課長 / 岩佐秀人 神戸市都市計画総局参事

平成22年1月13日、多数のご来賓と、県下各地よりご参集くださいました会員・賛助会員の皆様のご参加のもと、盛大に新年交礼会を催しました。神田会長の挨拶の後、井戸敏三知事および顧問の先生方から大変含蓄あるご祝辞を頂戴し、吉本福知事の乾杯音頭で交礼会が開幕。午後7時の中締めまで、ご来賓や賛助会員と会員、また会員同士の和やかな交流が繰り広げられました。

また、昨年のチャリティーゴルフ大会における募金を兵庫県青少年本部会長の井戸知事に贈呈。齊藤秋男理事が昨年12月に兵庫県知事賞を受賞されたことも披露されました。



会長 神田 武

挨拶

(社) 兵庫県空調衛生工業協会

みなさん、明けましておめでとうございます。このようにたくさんの方々にご臨席賜り、厚くお礼申し上げます。本年も、よろしくお願ひ申し上げます。本年は、お礼とお願ひを申し上げ、新年のご挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

昨年、この席で、いろいろお願ひをいたしましたところ、多大なご理解をいただきました。シナリオのない意見交換会を、電業協会さんとともに4回行わせていただきました。これは、非常に意義がございました。我々の言いたいことをすべて述べ、県当局の幹部の方々からいろいろなお話を伺い、勉強もさせていただきました。そのお話の内容を、これから一つひとつ成果を挙げながら、業界の力を強くしていきたいと思ひます。また、引き続きこのような意見交換ができますように、お願ひしたいと思います。

もう1点は、ご出席の会員の皆さんへのお願ひです。それは、この1年間、しっかり会員増強に励んでいただきたいということです。この10年、社会状況が大きく変わりました。そのような中で、会員も大きく減少しております。我々協会が強くならないことには、この業界は強くなりません。協会が強くするには、協会員の数が重要です。「数は力なり」という言葉もございませぬ。協会員一人ひとりがマンツーマンで、一人が一人会員を増強するということにご理解をいただき、この1年しっかり取り組んでいただくことを23年の重要課題として挙げさせていただきますと思ひます。そうすれば、この業界はしっかり強くなります。そして、後世への大きな財産になるはずですよ。

新年のスポーツを見ておられますと、ライスボウルでの攻めながらのデیفエンス、また、大学ラグビーでは帝京があれだけ早稲田に迫られても、なおかつ攻め、そして逃げ切るという展開が観られました。高校サッカーの滝川第二高校にしましても攻め続けて優勝を勝ち得たわけです。やはり、今年も攻めの年ではないかと思ひます。みなさんにも、この1年、攻めることによって守っていくという姿勢をとっていただき、会員増強にも攻めで臨んでいただきたいと思ひます。ありがとうございます。

この1年が、皆様にとって、明るく素晴らしい年であり、祈念申し上げます。まして、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

祝辞



参議院議員 末松 信介

新年、明けましておめでとうございます。久しぶりに元旦らしい寒い年明けを迎えました。

世の中、なかなか、景気が良くなりませんが、12年前の卯年には株価が37%上がり、さらに12年前にはブラックマンデーが起りました。すぐには持ち直しました。今年1年、どのような景気を迎えるか解りませんが、厳しい中でもしっかりと協会が発展されることを祈念申し上げます。

CO₂の排出量は14億1200万トンありますが、その36%を建築業界が占めており、その62%が建物の運用エネルギーです。そして、その内の48%が空調で、エレベーターと衛生が20%であるということですから、いかに空調衛生の仕事がCO₂削減に貢献できる仕事であるかが解ります。

知事のお話にもありましたが、設備は更新していかねばなりませんから、いい価格でいい品質のものを造っていただきたいと思ひます。やはり、妥当な価格は大切だと思ひます。そういう点を大事にしていきたいと思ひます。

当協会がますます発展されることを祈念いたします。ご挨拶とさせていただきます。

祝辞



兵庫県議会議員 羽田野 求

新年、明けましておめでとうございます。今年の新聞各社の社説を見ましても、デフレと円高に集中している感があります。その中で、ひとつ、気になったのは、このような閉塞状況を打ち破っていくという意味で、政治家と経営者は、日本経済に対して極めて重要な責任を負っていることを自覚すべきだという指摘がございました。身を挺して、日本の社会を立て直すという意味で、非常に大きな責任があると感じております。私は、6月までの任期の中で、兵庫県の新しい温暖化防止計画において、CO₂削減に向けての実行可能な仕組みを国に手本として示したいと思ひます。それが、結果的に皆様のお仕事の援護射撃になるのではないかと考えます。皆様の貴重な意見を伺いたいと思ひます。

今年も、悲観ばかりせず、新しい目標に向かって当協会がますます発展され、皆様方が活躍されますことを祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

祝辞



兵庫県知事 井戸 敏三

明けましておめでとうございます。今年、辛卯の年で、新しい時代や世界を開くスタートの年という意味があるとされております。実際にそのようにできるかどうかは、我々自身の努力にかかっていると思ひます。

お正月のテレビや新聞で、宇宙飛行士の野口惣三さんの対談をご覧いただいたのではないかと思ひますが、野口さんは、大きな夢を実現するには、二つひとつの過程を大切に積み重ねていかなければならないとおっしゃいました。我々の仕事を考えてみても、同じことが言えるのではないかと思ひます。

昨日、滝川二高が優勝の挨拶に訪れてくれました。私はその時、Wカップの日本チームと滝川二高の違いは、PK戦で勝ったか負けたかだと申し上げました。ゲームそのものはチーム戦ですが、PK戦は、キーパーとキッカーの1対1の戦いです。その時、人ひとりが実力をフルに発揮できるかどうか、鍵になってくるわけです。空衛協会を支えている企業もまさしくその通りであります。神田会長を中心に、さまざまな団体との会話などを通じて発展を遂げられようと思ひますが、メンバーそれぞれの力が、実は非常に大切ではないかと思ひます。

兵庫県福祉センターの竣工に寄せて

県土整備部 住宅建築局 設備課
主査 春名 義行

●兵庫県福祉センターについて

神戸市中央区の兵庫県福祉センター建替工事が平成22年12月に竣工しました。既存の福祉センターは昭和50年の開設以来、民間福祉活動の県域拠点としての役割を担ってきました。本工事は老朽化が進んでいる現福祉センターの機能を移転するためのもので、建設地は現福祉センターの東隣です。建替計画にあたっては南北に高低差のある敷地を生かした建物配置とすること、入居している福祉団体利用者のためのユニバーサルデザインを採用することに重点が置かれています。

●設備の特色について

空調機器は冷暖フリーのガスエンジンヒートポンプ式ビル用マルチエアコンを採用し、室内機には気化式加湿器を組み込んでいます。来訪者に配慮し、エントランスを兼ねた各階のエレベーターホールにも空調機を設置しています。居室の換気設備には全熱交換器を設置し、負荷抑制による省エネルギー化に努めています。また、ビル用マルチエアコンには多くの入居団体に対応するため、課金システムを組み込んだ集中コントローラーを1階の管理事務室に設置しています。各階の多目的トイレには全てオストメイト設備を設けるなど、福祉センターらしい仕様となっています。

●施工監理について

設計、工事監理の請負者である㈱日建設計の主導により月1回の全体会議、週1回の定例会議を実施しました。その会議の場で、建築間仕切りの見直し、既存の福祉センターから移設使用する備品との施工取り合いなど多くの検討課題を洗い出し、解決に向けて協議を重ねていきました。また福祉のまちづくり条例の文面だけでは理解が難しいユニバーサルデザインについては専門家から多くのアドバイスを頂きました。重点項目の一つである多目的トイレブースについては現場にモックアップを作成し、地元神戸の市民大学の方々に使用者目線で検証してもらいました。その結果、限られた面積の中で、利便性のよいものが出来たと感じています。

一年半程の工事期間でしたが、今後の業務に役立つ経験を多数積むことが出来ました。末筆ではありますが、工事施工者の皆様並びに設計、工事監理の㈱日建設計に深く感謝いたします。



【施設概要】

建築名称：兵庫県福祉センター 建設場所：神戸市中央区坂口通2丁目1 建築用途：事務所、会議室
防火対象：消防法施行令 別表第一 16項イ 延床面積：6,635.28㎡ 構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上6階・地下1階
工期：平成21年7月～平成22年12月 設計・監理：県土整備部住宅建築局設備課・㈱日建設計 施工：池水・三樹特別共同企業体

ものづくり大学校(仮称)教育研修施設

～ものづくり人材の新たな育成の場～

県土整備部 住宅建築局 設備課
主査 生駒 憲一

●ものづくり大学校について

兵庫県では、ものづくりの強みを生かすため、①ものづくり産業の現場を支える人材の育成・確保や技術・技能の継承を図る機能と、②ものづくりの体験・学習を通して子供達の理解と意識を高める機能を併せ持った、新たな拠点施設「ものづくり大学校(仮称)」を整備しています。この度、①の機能を担う教育研修施設が竣工しましたので、ご紹介いたします。

●教育研修施設と設備の特色

教育研修施設は、教室棟(第1工区)と実習棟(第2工区・北実習棟と南実習棟の2棟)で構成されています。教室棟は各専門分野に関する学科を学べる機能を、実習棟は溶接作業や自動車塗装作業並びに金属加工及び木造建築建設作業を実践して学べる機能を有しています。このような、多種多様な実習カリキュラムへ柔軟に対応できる様に、個別分散空調システム(ガス及び電気式ヒートポンプパッケージエアコン)を採用しました。また、雨水再利用設備(屋上緑化灌水用)の設置、節水型衛生器具(自動水栓等)や全熱交換器の採用(空調負荷の低減)と共に、建設コストの低減(屋内消火栓用配管と連結送水管とを共用)を図る等、環境性・省エネルギー性・経済性の実現に配慮しました。

●設備施工にあたって

設計では、実習で使用する危険物(アセチレンガス、塗料)を安全に貯蔵するために設備を防爆対応としたり、可燃性ガスを燃料とするGHP室外機に対して移動式粉末消火設備を配置するなど、事故発生の未然防止や二次災害の防止等、安全性の確保に配慮しました。施工では、複数の建築請負業者及び建築担当職員との施工管理や、竣工後に設置される実習設備(自動車塗装ブース、溶接用機材、集塵機等)の取り合いについて担当教官と綿密に調整する等、総合調整業務に重点を置きました。1年以上の長期にわたる工事でしたが、大きな事故等も無く、無事に竣工いたしました。末筆ながらご尽力いただいた工事施工業者をはじめ、ご協力いただいたすべての方々に厚くお礼を申し上げます。

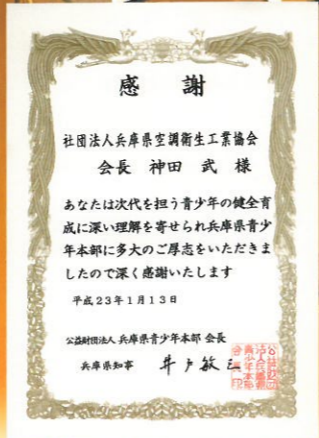


【建築概要】

建築名称：ものづくり大学校(仮称)教育研修施設 建設場所：姫路市市之郷(姫路駅周辺土地区画整理事業地内4-1街区5、6、7、9)
建築用途：公共職業能力開発施設(職業能力開発促進法に基づく) 防火対象：消防法施行令 別表第一 第7項
延床面積：9,855.71㎡ 建築面積：3,324.10㎡ 構造規模：(教室棟)RC造6階建×1棟・(実習棟)S造4階建×2棟
工期：平成21年6月～平成22年9月 設計者：兵庫県県土整備部住宅建築局設備課・㈱教育施設研究所大阪事務所
監理者：兵庫県県土整備部住宅建築局設備課 施工者：(機械設備)テラマエ設備工業㈱・(ガス設備)大阪ガス㈱

平成23年 新年交礼会

社団法人兵庫県空調衛生工業協会



親睦チャリティゴルフ大会の 募金を寄贈



去る平成22年11月11日(木)、加西市西横田町の播州東洋ゴルフ倶楽部において、親睦チャリティゴルフ大会を開催し、正会員、賛助会員併せて47名が参加して、晴天の秋空のもと楽しいひとときを過ごしました。

その際、参加者から100,000円の募金をいただきました。

そこで、昨年度に引き続き、これからの兵庫を担う青少年の健全な育成に尽力されている井戸敏三知事を会長とする公益法人兵庫県青少年本部に寄贈することとしました。

募金頂いた皆さんの前で寄贈しようと、新年交礼会の席上、井戸知事(同青少年本部会長)にお渡しいたしました。井戸知事からは、当協会の公益活動に対する敬意と謝辞が述べられ、神田会長に感謝状をいただきました。会員、賛助会員各位の善意のたまものとして協会事務局に掲示しております。

EDITORIAL STAFF

- 広報委員会
- 委員長 原田 猛
- 副委員長 廣瀬 彰
- 委員 山口潤一
- 委員 下井宏之
- 委員 高井豊司
- 委員 藤井一博
- 委員 山中賢作

編集後記

厳しい寒波で明けた2011年。2008年のリーマンショック以来、光が見えない不況が続き、閉塞感が覆われている日本は、社会全体が激寒に打ち震えている感すらあります。しかし、今年は、相場が跳ねるといわれる卯年です。アメリカ経済の着実な回復傾向、中国をはじめとするアジア新興国の著しい経済成長に伴う輸出増加などを受け、国内の景気は今年後半には上向くと考え、大勢を占めています。今こそ、未来の飛躍に向けてできる限りの努力を払う準備の時かもしれません。神田会長が新年交礼会の挨拶でおっしゃった「攻めながら守る姿勢」が、業界を切り拓き、明るい光を導きいれる、よすがとなるのではないのでしょうか。

広報委員会は今年も、皆様のお役に立つ情報をお届けいたします。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新会員 だより

当社は、創業以来、「人に優しく、環境に優しい」をモットーに人と環境との関係を様々な角度からアプローチしてまいりました。そのモットーを実現すべく、当社には業務を通じた三つの柱(テーマ)があります。



まず、土木建築工事の請負、管工事業、水道施設工事業、舗装工事業、緑化工事及びその育成管理の請負などを通じて人に優しい「街をつくる」という柱。産業廃棄物及び一般廃棄物収集運搬業、不動産業などを通じて環境に優しい「街を保つ」という柱。ビル等の総合管理業、警備業、人材派遣業などを通じて、より清潔で快適な環境をつくり、また地域社会の安全な環境を確立する社会に優しい「街を守る」という柱です。当社ではこの柱を成長させるべく、今何が出来るか、何が求められているかを常に考え、お客様のニーズに応えるべく事業を増やし今日の事業内容となりました。当社従業員はこの三本の柱をいつも心がけ業務に取り組んでおります。

また、当社はISO9001:2008に基づき品質管理を行っております。



1. 常にお客様の立場で考え、満足されるサービス、商品を提供する。
 2. 常により良いサービス、商品を提供する為に、切磋琢磨し向上に努める。
 3. 常に全社員は「PDCA」を活用し、システムの継続的な改善を行う。
- という品質方針のもと、お客様のご要望にお応えすべく、どの様な業務も出来ないとは考えず、どうすれば出来るかを模索しチャレンジ精神を忘れず、お客様とのコミュニケーションを通じてお客様に満足されるサービス提供を目指しております。
- 今後はより一層の地域社会の貢献を目指して、「街をつくる」「街を保つ」「街を守る」の3本柱を主眼に活動してまいりますので、今後ともご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要 播磨環境管理センター株式会社 〒676-0068 高砂市高砂町鍛冶屋町1401-1

代表取締役 青柳 進 TEL: 079-443-0003 FAX: 079-443-0638

【資本金】4500万円 【事業内容】総合建築業(土木・建築・解体) 管工事業 水道施設工事業 舗装工事業 造園業務及び植栽維持管理業 ビル総合管理業 警備業 人材派遣業 産業廃棄物収集運搬業 一般廃棄物収集運搬業 不動産業

お知らせ

■「不当要求防止責任者講習会」の開催案内 ~暴力団からあなたの職場を守るために~

- | | |
|------|---|
| と き | 平成23年3月2日(水) 13:30~16:00 |
| と ころ | 神戸市勤労会館 3階 308号室(神戸市中央区雲井通5-1-2 電話078-232-1881) |
| 内 容 | 13:30 開会 |
| | 13:40~14:30 暴力団不当要求排除のDVDによる講習 |
| | 一 休 憩 一 |
| | 14:40~15:50 専任講師による講習 |
| | 16:00 閉会 |

ご案内の通り今回の研修は、公益財団法人暴力団追放兵庫県民センターの協力を得て、兵庫県公安委員会の修了証書が発行される研修会です。従いまして事前に受講者の過去の不当要求防止責任者の届け出の有無のチェックがあり、当日に急遽受講者の変更が許可されません。ご理解の上早期に受講申し込みをいただき、多数の参加をお願いします。

■「経営セミナー」の開催案内

(社)日本空調衛生工業協会から(財)建設業振興基金・助成金が交付され、セミナーを開催することになりました。

講師は、神戸新聞社経済担当の元論説委員を通じ、神戸国際大学教授にお願いすることになりました。この講師は、中小企業論(中小企業間ネットワーク、中小企業政策、地域経済論)の識者で、設備業としても新しい視点やこれからの企業経営に役立つものと考えております。是非多数の参加を御願いたします。

- | | |
|------|---|
| と き | 平成23年3月18日(金) 14:00~15:30 |
| と ころ | 神戸市勤労会館 3階 308号室(神戸市中央区雲井通5-1-2 電話078-232-1881) |
| 講 師 | 教授 中村 智彦 氏 |
| | 学位 名古屋大学大学院 学術博士 |
| | 学歴 名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程修了 |
| | 職歴 大阪府立産業開発研究所勤務 日本福祉大学経済学部助教授 等 |

■表彰 2月2日(水)兵庫県公館において表彰式が行われました。

【平成22年度「さわやか県土づくり賞」表彰】・三神工業(株) ・建部工業(株) ・(株)近畿工業
【平成22年度「兵庫県優秀施工者賞」表彰】・(株)但馬近畿工業 羽賀 勝己様